

令和 4年度

事務事業評価表 ( 令和 3年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 4 年 3 月 25 日

事務事業名		やまと認定こども園管理運営事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	010101000247	
						単独/補助	単独			
政策体系上の位置付け								所属課	040201	
政策	総合計画の施策名	0101 子育て支援及び少子化対策の推進							児童福祉課	
策	政策名	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						課長名		
体	施策名	01 子育て支援及び少子化対策の推進						グループ	やまと認定こども園グループ	
系	手段名	01 ①子育ての支援体制の充実						担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	03	02	05	06	00	やまと認定こども園事業			
法令根拠		児童福祉法第35条3、桜川市立認定こども園の設置及び管理に関する条例				事業期間		単年度繰返し (昭和32年度～)		
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>(事務事業の内容) 6カ月～就学前児を預かり、保育教諭が教育・保育にあたる。(1号 AM9:00～PM2:00、2・3号 AM7:30～PM6:30)また、延長保育 (PM6:30～PM7:00) を実施している。なお、土曜保育を1日 (AM7:30～PM6:30) の預かりとし、公私連携の基、岩瀬認定こども園でやまと認定こども園・岩瀬東部認定こども園の児童を預かる。また、一時預かり保育も行っている。</p> <p>(教育・保育内容) 0・1・2歳児・・・生活指導の介助・製作指導 (シール遊び)、3歳児・・・生活指導の自立 (食事・排泄・衣服の着脱)、4・5歳児・・・衛生面の指導・学習指導 (文字指導等)。</p> <p>市職員23名 再任用職員4名 会計年度任用職員8名</p>	<p>一緒に遊びながら生活習慣を身に付けさせ子どもが楽しく過ごせるように見守る。各こども園で誕生会・親子遠足・保育参観・運動会・発表会・節分・修了式などの行事を行っている。保育教諭が子どもの健康状態を常に把握し、発達段階に応じて援助している。年間行事は職員と保護者会で検討し、次年度の年間行事予定を作成、年度始めに保護者に配布、保育内容について説明している。また、延長保育での業務内容は、保育教諭により長時間保育希望届の作成、就労証明書の受付、内容のチェック審査等を行っている。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1号認定児 9時～14時</li> <li>・短時間保育 8時～16時</li> <li>・標準保育 7時30分～18時30分</li> <li>・土曜保育 7時30分～18時30分</li> <li>・延長保育 18時30分～19時</li> <li>・一時預かり保育</li> </ul>	こども園開日数	日	293.00	293.00	293.00	293.00	293.00
	実施した行事の回数	回	51.00	51.00	51.00	51.00	51.00
	行事予定の作成のための会議回数	回	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
こども園に入園している園児とその保護者	入所児童数	数	155.00	146.00	140.00	140.00	140.00
	保護者数	数	130.00	125.00	116.00	116.00	116.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
入園児が安心・安全に楽しく過ごせるようにする 仕事と子育ての両立ができる	子どもの年間怪我数	件	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	延長保育の利用者数	人	425.00	425.00	425.00	425.00	425.00
	子どもが楽しく過ごしていると思う保護者の割合	%	95.00	99.00	95.00	95.00	95.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	18,897	15,717	
		一般財源	千円	24,249	2,788	5,359	
	事業費計 (A)	千円	24,249	21,685	21,076		
	正規職員従事人数	人	18.00人	22.00人	22.00人		

03年度事業費 実績 (千円)		04年度事業費 予算 (千円)	
01 報酬	199	01 報酬	196
07 報償費	156	07 報償費	165
10 需用費	16,067	10 需用費	16,628
11 役務費	586	11 役務費	551
12 委託料	1,292	12 委託料	1,352
13 使用料及び賃借料	762	13 使用料及び賃借料	669
14 工事請負費	2,042	14 工事請負費	1,300
17 備品購入費	458	17 備品購入費	46
18 負担金補助及び交付金	123	18 負担金補助及び交付金	169
合計	21,685	合計	21,076

事務事業名	やまと認定こども園管理運営事業	事務事業No.	10101000247	所属課	児童福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、働く保護者を支援するための保育所を昭和37年に開所し、以来発達状況にあった行事を行ってきた。平成28年4月1日認定こども園設置以降、核家族・女性の社会進出に伴い、共働きの保護者が多くなり、こども園に子どもを預ける保護者が増えている。開園当初と比較して少子化の傾向が強くなっているが低年齢児の入所児童数は増加している。近年、保護者の保育ニーズは高まり、我が子を中心として考える傾向が強くなり、園に対する要望も増えている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
認定こども園となり5年が経過したが、低年齢児の受入希望が年々増加している。また、一時保育の希望や民間のこども園では受け入れずらい児の入園希望も増加の傾向にある。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 子供たちが安全に楽しく過ごすために、心身共に健やかに育つ事に結びつく。また、保護者が安心して子供を預けられ、仕事との両立ができること、子育て支援の推進に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 公立こども園は、営利目的ではなくて家庭状況が厳しい子や心身の発達に問題のある子等保育を必要とする子供を受け入れている。子育て支援は、市としての課題であり公立のこども園が地域の核となる施設として保育を行っていく事が必要である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 利用定員を増やすことにより待機児童対策につながり、就学前の児に対し、教育・保育並びに保護者に対する子育て支援の推進に繋げる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 子供が健やかに育ち、保護者が安心して預けられる環境を失われ、就労している保護者にとって仕事を継続していくことが困難になる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 具体的な手段、事務事業名 平成31年4月から、岩瀬と岩瀬東部認定こども園が民営化により市社会福祉協議会に移管されたが、当分はこれまで同様3園が連携して保育業務を行っていく。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 年々入園児も低年齢化しており、また、入園希望者も増加傾向にあり、手のかかる入園児も多く、安心・安全の保育のためには保育教諭の数を削減することはできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 児童の入園については、保育の必要性を審査して公平に入園が決定されている。利用者負担額については保護者の課税額で設定しており、この額については公正公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今年度は、コロナ禍だったため行事が思うようにできず、縮小したり人数制限などを行いコロナ対策に気を付けて行った。																			
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持		○			低下				
成果	向上	コスト																			
		削減	維持	増加																	
維持		○																			
低下																					
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 ②																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>